

異文化交流Ⅱ

L124050 多賀大晃

9月10日から14日の5日間、私は中国の北京に滞在した。出発前は実は期待より不安の方が大きかった。なぜなら日本で流れている中国についての報道は、大気汚染や反日デモなどネガティブなものばかりであったからである。

初日、島根大学を出発し約3時間ほどかけて広島県三原市にある広島空港に到着した。まず手荷物検査で鉄が没収された。また12時40分発なのになかなか搭乗させてもらえなかった。すると案の定アナウンスが入った。「当機は機材の不備が見つかりましたので点検を行っています。今しばらくお待ちください。」結局約2時間遅れで、離陸した。北京につくころには、もう夜になっていた。あれだけ大気汚染で騒がれていたはずなのに大きな満月がくっきりと見えた。

2日目、中国で初のごはんはチャーハンだった。日本のものより薄味だったが、何か奥深い味がした。しかし、時間があまりなかったので味わって食べるができなかった。午後からは中国人民大学でプレゼンテーションの交流会が行われた。人民大学の学生は、私とは違って何かその先を見据えた発表をしていたように感じた。中国語はわからなかったけど。私たちの発表は、他の二人ががんばってくれたがまとまりを欠く内容になってしまった。何一つうまくできなかった自分に腹が立った。また、通訳の朱さんにも迷惑をかけてしまった。この経験を今後に生かしてやろうと思った。交流会の後は晩餐会を開いていただいた。豪華な中華料理と聞いていたので、どこか遠いところに行くのかと思っていたが大学の敷地内にあるそうだった。言っていなかったが、中国人民大学は、ものすごく広かった。島根大学の何倍かもわからないくらい。私たちが入ってきた門から経済学部まで歩いて15分ほどかかった。途中いろいろな学部、いろいろな施設が並んでいた。晩餐会に話を戻すが、見たことがない料理や「ピータン」などのあまりなじみのない料理が並んでいたが、味はとてもおいしかった。お酒も燕京ビールから白酒までたくさんいただいた。さすが中華料理の味に偽りなしだなと思った。その後、人民大学からホテルに帰る途中に屋台が出ていたので焼き鳥やイカ焼きなどを購入し、ホテルで二次会を開いた。

3日目、人民大学のバスを借りて北京現代と燕京ビールの工場を見学した。現代といえば韓国の自動車メーカーだということは知っていたが、中国にもあることは知らなかった。工場のなかでは、日本の自動車工場と同じくラインに乗ってくる自動車を作り上げていく方式だった。ただ日本と違うところは、一つの工程にかけている人数が多いことだ。ここで10億人のすごさを改めて感じた。また部品は、各地から送られてきていた。燕京ビールは北京で80%以上のシェアを誇るお酒である。昼食は焼肉食べ放題だった。食べ放題だけではなくお酒やジュースも飲み放題で日本円で2000円もかからなかったのも、とてもびっくりした。ビール工場では、皆がせっせと働いていると思いきや段ボールを敷いて地べたに座してみたり、監視カメラをモニタリングしているおじさんが、ビールをたらふく飲みながらタバコ吸っていたり、逆に私は中国人のマイペースなところに関心を持っ

た。夕食も機能と同じく大学構内の中華料理店でお世話になった。昨日とは違う料理店だったので驚いた。そしてついにあの料理と対面することになる。それは北京ダッグだ。思ったよりおいしくなかったが、いい機会なのでいただいた。中国での料理は、皆おいしいものばかりだったが一つも料理名が分からなかったのが心残りだ。

4日目、昨日と同じく人民大学のバスを借りて、万里の長城と天安門広場にある故宮博物館に行った。万里の長城は北京にあるといっても郊外にあるので約1時間半ほどかかった。休日ということもあり多くの車が高速道路を走っていた。高速道路には走行車線2本と待避線1本があったが、待避線の方にも所狭しと車が並んでいたのびびっくりした。万里の長城での滞在時間が短かったのいろいろなところを回ることはできなかったが、階段が一段一段高さが違ったことから人工であることがうかがわれた。また頂上から見る景色は最高だった。それ以上にびっくりしたのは観光客の多さである。中国人より外国人のほうが多かった。ぜひ一度行ってみることをお勧めする。故宮博物館ではこれまた大昔につくられたとは思えないような立派な宮殿がいくつも並んでいた。中国4000年の歴史はやはりすごかった。

中国の滞在を振り返ると出発前に持っていたイメージは何一つあてはまってなくて、むしろ自分のことは自分で決めるという決断力のある人柄は文化だと思った。食事も口に合わないということもなくむしろとてもおいしかった。やはり先入観ほど怖いものはないと思った。一つ心残りだったのは自分の語学力のなさである。中国語は言うに及ばず、英語もままならない私はやはりコミュニケーションがうまく取れなかった。コミュニケーションかといえないことがこれほど苦痛だとは思わなかった。自分を高める？意味でもぜひ一度行って感じてもらいたい。

